

そうか教育だより

平成21年
(2009年)
6 / 5

第14号

THE SOKA
EDUCATIONAL NEWS

栄小学校六年
馬場 一彰

せんべいが
団地の夕日に
そまる秋

発行/草加市教育委員会 ●〒340-8550 草加市高砂一丁目1番1号 ●電話 048(922)0151(代表) ●平成21年6月5日 発行

夢と希望をはぐくむ学校をめざして

松原小学校が誕生

平成21年4月1日(水)に北谷小学校及び花栗小学校が統合し、松原小学校が誕生しました。満開の桜の中迎えた入学式は新一年生の姿とともに、松原小学校の新たなスタートラインとなりました。

なお、5月23日(土)、開校式典が全児童、保護者の方々、地域の皆さまをはじめ、多くの関係者が出席するなか行われました。



松原小学校での入学式

北谷小学校の跡地に新校舎を建設し、平成23年4月から新しい環境の下で教育活動が始まります。

鉄筋コンクリート造 地上3階建
延べ床面積 約9,820㎡



新校舎完成予想図



◀平成21年2月14日に行われた花栗小学校の「閉校式」の様子

▶在校生の感謝の気持ちが表現された閉校後の北谷小学校の様子



昭和39年10月1日創立の北谷小学校は45年、昭和45年4月1日創立の花栗小学校は39年の歴史をそれぞれ刻みました。松原団地をはじめ地域の人々に支えられ、幕を閉じました。

訪ねてみました 文化財…⑪



縄文時代前期の貴重な遺産

『綾瀬川(旧新田村)出土丸木舟』

本紙4ページで紹介している歴史民俗資料館には、長さ約6m、最も高いところの高さが約65cmの大きな丸木舟が展示されています。

この丸木舟は、昭和4年、当時の旧埼玉県北足立郡新田村(現在の草加市金明町)で、綾瀬川の川底しゅんせつ工事をしていた際に偶然発見されました。一本のカヤという針葉樹をくりぬいて造られており、内部の構造を補強するため、それぞれ舟底から高さ3cm、幅10cmずつが舟首・中央・舟尾の3か所で横方向にくり残されているのが特徴

です。

発見後は県の施設や旧村立新田中学校などに預けられていましたが、昭和58年11月、歴史民俗資料館の開館を機に同館へと収蔵されました。

平成13年度には、丸木舟が製作・使用された時期の年代測定が行われました。その結果、この丸木舟は今からはるか5,300年も昔の、縄文時代前期の年代に相当するものであると推定されました。縄文時代前期の丸木舟は、全国でも9つの出土例しかない非常に珍しいものです。

「潤いと特色ある草加の教育」

「実践する教育委員会」をめざして

平成21年度草加市 教育行政重点施策

基本理念

- ・信頼される学校教育の推進
- ・豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
- ・人権を尊重しあう教育の推進

信頼される学校教育の推進

1 生きる力をはぐくむ学校教育の推進

- (1) 幼児期の教育支援の推進
- (2) 自ら学ぶ児童生徒の育成
- (3) 心豊かな児童生徒の育成
- (4) 心身ともに健やかな児童生徒の育成
- (5) 特別支援教育の充実
- (6) 国際理解教育の推進
- (7) 情報教育の推進

2 潤いと安全安心の教育環境づくりの推進

- (1) 計画的な学校教育施設づくりの推進
- (2) 魅力ある「奥日光自然の家」の推進
- (3) 学校給食の推進
- (4) 学校保健の充実

3 学校、家庭、地域の協力と連携の推進

- (1) 教育支援の推進
- (2) 安全・安心体制の推進
- (3) 開かれた学校づくりの推進
- (4) 家庭教育の支援推進

4 学校経営の充実

- (1) 学校管理の支援推進
- (2) 学校応援体制の推進

○自ら学ぶ児童生徒の育成

子どもたちが目標を持って取り組む教育を推進します。何より授業を重視するという基本に立ち、指導法の工夫改善や評価充実、地域との連携、家庭学習の定着など各校の学力向上の取組への支援及び教職員の研修充実に努め、一人ひとりを大切にした教育の充実を図ります。

- ◇草加っ子「生き生きプラン」推進事業
- ◇草加っ子「ステップアッププラン」推進事業
- ◇学校教育補助員配置事業 等

○計画的な学校教育施設づくりの推進

小中学校の校舎等耐震補強事業では、国庫補助を最大限に活用し、平成25年度までに工事を完了させるため、耐震化の推進を図ります。

小中学校トイレの洋式化等の内部改修の修繕・工事を進めます。ヒートアイランド対策や緑化対策に加え、子どもたちの教育の一環として、試行的に校庭の一部につき芝生化を推進します。

- ◇松原小学校建設事業
- ◇栄小学校校舎等改築事業
- ◇学校維持管理運営事業 等

豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進

1 地域に根ざした生涯学習活動の充実

- (1) 生涯をとoshした多様な学習機会の拡充
- (2) 生涯学習施設の整備とネットワーク化

2 文化遺産の保存や市史の継承と活用

○生涯をとoshした多様な学習機会の拡充

第二次生涯学習基本構想・基本計画に基づき、市民一人ひとりのライフステージに合わせた多様な学習機会を創出し、生涯をとoshした学習活動の推進体制を構築します。

市内の大学や企業との連携、市民との協働を進め、草加らしい豊かなまちづくりにつながる生涯学習を推進します。

今年度は「第21回全国生涯学習フェスティバルまなびピア埼玉2009」開催に伴い、本市では「まなびピア埼玉2009in草加」として生涯学習に関連する事業を開催します。

- ◇そうか市民大学運営事業
- ◇大学公開講座等推進事業 等

人権を尊重しあう教育の推進

1 学校教育における人権教育の推進

2 社会教育における人権教育の推進

第二次生涯学習基本構想・基本計画を策定

草加市では、「生きる力をはぐくむ そうか学縁都市」を目指して、平成11年に「草加市生涯学習基本構想・基本計画」を策定し、生涯学習の取組みを積極的に推進してきました。その結果、草加市の特色を発揮した生涯学習がさまざまな分野で広がりを見せてきています。

第二次草加市生涯学習基本構想・基本計画は、市民一人ひとりが自らの人格を磨き、人生を豊かにするためにあらゆる場所で、あらゆる機会に学習し、その成果を生かすことができる生涯学習社会の実現を目指し、計画の基本理念を「生きる力をはぐくむ 学縁都市 そうか」とし、計画の基本目標を右記の3点としました。

以上の基本理念・基本目標からなる基本構想をもとに、基本計画を次のとおり定めました。

基本計画は、3つの「施策の基本方向」に沿って施策を体系化するとともに、その取組のなかから重点的に取り組むべき施策を「4つの重点プロジェクト」として示しており、平成28年度までを計画の期間と定め実現に努めてまいります。

基本構想

基本理念と基本目標

1. 計画の基本理念

生きる力をはぐくむ学縁都市 がくえん そうか

2. 計画の基本目標

人とつながる
学びの場をつくろう

誰でも参加できる
学びの場をつくろう

まちづくりにつながる
学びの場をつくろう

基本計画

施策の基本方向

1. 学びの環境づくりを推進する
2. 学びの活発化を推進する
3. 学びのまちづくりを推進する

4つの重点プロジェクト

1. 新たな学習システムの構築
2. 生涯学習センター機能の整備
3. 地域学習圏づくりの推進
4. 市民と協働する学習活動の推進

草加の子どもたちの活躍

平成20年度

がんばる草加っ子

運動 (中学校体育連盟関係)

○陸上

- 関東・全国大会 女子砲丸投げ
全国優勝
関東大会優勝
(大会新記録…15m70cm)
松江中学校 松田 昌己さん

- 関東大会 3年男子100m
松江中学校 菅谷 量輝さん

- 関東大会 1年男子1500m
栄中学校 天野 匠さん

○水泳

- 関東大会 200m自由形
瀬崎中学校 服部 順也さん

○相撲

- 関東・全国大会
全国大会団体戦 草加中学校
全国大会個人戦決勝トーナメント
草加中学校 鈴木 亮平さん

○新体操

- 関東大会 個人
松江中学校 大沼 彩乃さん

文化

○子ども環境サミットや、子ども議会などで、積極的に提言しました。

○このほか、

科学振興展や発明創意展、児童生徒美術展をはじめとする絵画・ポスター展、読書感想文や書き初め・硬筆コンクール、環境や人権などに関わる作文や標語のコンテスト、音楽祭やアンサンブル演奏会、演劇発表会・英語弁論大会でのパフォーマンス…など
実に多くの分野で、市内33校の子どもたちが様々な活躍しました。

草加っ子「ステップアッププラン」

～自ら学ぶ意欲の向上をめざして～

草加市教育委員会では、市内各校と連携し、子供たちが自ら目標を定め、その目標に向けて努力することができるよう多様な学習の場の提供と、学ぶ意欲の向上を支援しています。



①放課後学習の支援 (放課後草加っ子寺子屋)

放課後に各小学校で、高学年の算数を中心とした学習教室を開催します。

③土曜日の学習の支援 (土曜日の草加っ子寺子屋)

第2・第4土曜日に市内の公民館4カ所で、午前中に小学校3年生以上を対象に算数、数学を中心とした学習教室を開催します。

②「チャレンジクリア賞」

学習面、体力面など子どもたちが自ら定めた目標を達成した児童生徒に「チャレンジクリア賞」を贈り、目標に向け努力することの大切さや楽しさを感じることができるようになります。

この他、各校がそれぞれの学校実態に応じて、様々な取組を展開して参ります。

④算数スイスイ、 数学スイスイ問題集

草加っ子の基礎・基本における算数、数学の基礎・基本の定着のため問題集を該当学年の全児童生徒に配布します。繰り返し学習することで基礎・基本の定着を図ります。

高砂小学校地域開放型図書室が 9月6日(日)オープンします

現在、西町小学校と川柳小学校に開設されている地域開放型図書室が、高砂小学校にも新設されます。絵本や物語などの児童書のほか、小説や家庭生活・趣味の本など約12,000冊がご利用いただけます。また、中央図書館のリクエスト本の受取場所としても活用できます。

☆利用できる日時：毎週日曜日 午前10時～午後4時

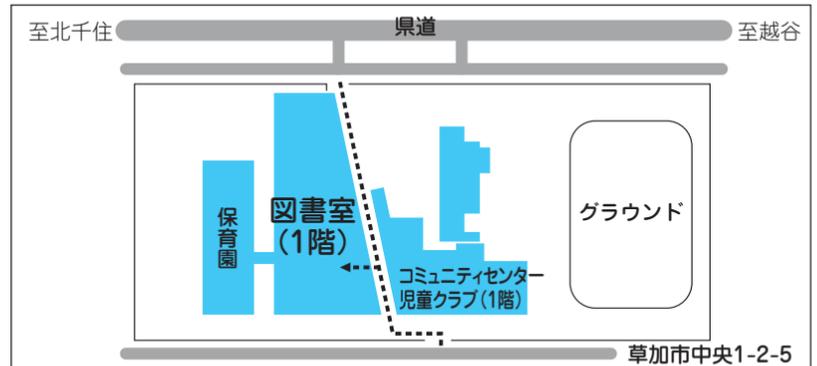
☆サービス内容：図書の貸出・返却・リクエストなど

☆利用できる人：市内在住・在勤・在学の人

☆貸出冊数：1人10冊以内(中央図書館等も含む)

☆利用登録：「図書館利用カード」は中央図書館と共通です。
登録の際は、住所の確認ができるもの(免許証・保険証など)が必要です。

〈高砂小学校地域開放型図書室の設置場所〉



詳しくは草加市立中央図書館まで 電話048-946-3000

奥日光自然の家開館

皆様のご利用をお待ちしております。

今年も市の保養施設「奥日光自然の家」が5月2日(土)に開所しました。同施設は中禅寺湖畔千手ヶ浜にほど近い国有林に囲まれ、野鳥やシカなどの野生動物が生息し、6月には九輪草(クリンソウ)が見頃となるなど、自然の宝庫です。西ノ湖や戦場ヶ原をめぐるハイキングコースとしても絶好の場所です。

■開所期間 5月2日(土)から11月上旬まで

■宿泊料金 1人1泊1,540円(4歳以上中学生以下770円)

*草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町以外の居住者は5割増

■食事料金 朝食 735円・昼食 315円(おにぎり)

夕食 A1,470円・B2,625円・C3,150円(消費税込)

■休所日 火曜日(祝日に当たる日はその翌日)

■利用制限 1部屋2人以上・連泊最長5泊6日まで

■交通 赤沼車庫駐車場から千手ヶ浜行きの低公害バスをご利用下さい。

(所要時間30分、運賃大人300円・子ども150円)

*車で行かれる方は、自然の家までの道路は自然保護の為現地への乗り入れはできませんので、戦場ヶ原入口の赤沼車庫駐車場に駐車して、バスをご利用下さい。

■申込及び問合わせ 利用日の2ヶ月前から4日前までに、学校施設・給食課 電話 048-922-2643(直通)

■備考 施設利用料金は学校施設・給食課、食事代は現地での支払になります。



宿泊施設(西館)



6月中旬に最盛期を迎える九輪草

高砂小学校 コミュニティセンター・児童クラブ・保育園の複合施設完成

創立55周年を迎えた高砂小学校は、新設校舎に加えてコミュニティセンター、児童クラブ、保育園を併設した複合施設が今年3月に完成しました。

施設の敷地面積は約25,357平方メートル。北校舎は、鉄筋コンクリート造り一部鉄骨造り。コミュニティセンターは二階建てで約675平方メートル、児童クラブ約387平方メートル、体育館約2,390平方メートル、延べ床面積は約3,451平方メートルとなっています。天井の高さは、草加市の構造改革特区が認められ天井高2メートル70センチが初めて採用されました。

「開かれた学校」として建設され、各施設の建物は内部でつながっており、お互いに交流ができるよう開放的になっています。施設の敷地内にも市民が通ることのできる遊歩道を設置し、交流の場として利用されることが期待されます。

環境の配慮から高砂の森を取り入れ、緑化推進を行ったことから、自然が多く、住民の憩いの場として最適であります。

今後は更に学校、地域の連携を深め、開かれた施設として活用していく計画で、子どもたちから高齢者までが安全で有意義に過ごせる教育の場として、広く利用されることが期待されています。



校内にある遊歩道



新校舎の外観風景

歴史民俗資料館が登録有形文化財に

草加市立歴史民俗資料館（旧草加小学校西校舎）が、平成20年10月23日付で国の登録有形文化財に登録されました。

同資料館は、大正15（1926）年、草加小学校の西校舎として、建築家・大川勇氏の設計により建てられた、埼玉県初の鉄筋コンクリート（RC）造校舎です。

鉄筋の建造物ならではの重厚さや、モルタル仕上げの知的なグレーの壁面。屋上に設けられた運動場から響く子どもたちの笑い声、さらにこの館の顔ともいえる山型のデザイン屋根が醸し出す芸術性の高さ。当時、これらの要素が周囲に放っていた近代的な雰囲気は、実に圧倒的なものであり、多くの人々を魅了しました。

この建物は、校舎としての利用は昭和54年度をもって終了し、それから3年後の同58年11月1日、今度は草加市の文化財を保護するための施設である「歴史民俗資料館」として新たなスタートを切りました。

そして、開館から25周年を迎えた平成20年、「造形の模範になっている」建造物であることなどが評価され、草加市では初、また埼玉県では123件目となる「登録有形文化財（建造物）」となりました。



正面から見た歴史民俗資料館

教育支援室

●住所 〒340-0013 草加市松江一丁目1番32号
●電話 048-933-7591 FAX 048-933-7590

教育支援室では、教育相談・生徒指導・発達相談・就学相談等に関する悩みや不安を抱えているお子さんやご家族の方々の多様な相談に対応し、解決に向けての支援、助言を行っております。

教育支援室の利用案内

教育相談	相談内容	学校生活や家庭生活等での心配やお困りのことについて相談に応じます。いじめ・不登校・非行問題・生活全般・就学・発達 等
	日時	毎週月から金曜日、9:00~17:00 子どもの心理面について臨床心理士等による相談日は木・金曜日のみ。
ことばの相談	相談内容	言葉・聞こえ等の相談に、言語聴覚士が対応します。
	日時	毎週火・木曜日、9:00~16:00
発達相談	相談内容	発達及び就学についての相談に、臨床心理士が対応します。
	日時	毎週月・水・金曜日、9:00~16:00

※相談対象者は、市内在住の就学予定児、市立小中学校の児童生徒及びその保護者です。
※面接相談の場合は予約が必要です。ただし、電話による相談は随時行っています。

いじめ・教育相談電話 048-932-6506 一般相談・発達相談 048-933-7591
フリーダイヤル0120-384783 FAX048-933-7590

【学校適応指導教室「ふれあい教室」の開設】

学校と連携をして、様々な原因で学校に通えない児童生徒が、少人数の集団の中で多様な活動を行いながら、登校に向けてのお手伝いをします。

市立小中学生全員に配布
フリーダイヤル
「草加っ子」元気カード
いつでも誰でも安心して
いじめ根絶のための電話相談
ができます。



教育支援室では、落ち着いた教育環境の中で学習が行われるよう、学校からの要請に応じて配置する「学級支援員」等、各種支援員、相談員、指導員の整備をとおして、様々な形で各学校の教育活動支援にもあたっております。

